

基礎調査

タイ国 小型メタン発酵システムによる有機性廃棄物の 肥料化・発電にかかる基礎調査



企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社ヴァイオス
- 代表企業所在地：和歌山県和歌山市
- サイト：タイ・バンコク周辺、チェンマイ県、スラタニ県

タイ国の開発課題

- 経済発展に伴い廃棄物発生量が増加しているが、適正な処理がなされていない。
- エネルギー資源の国外依存度低減や化石燃料依存脱却に向け再生可能エネルギーの利用が求められている。

中小企業の製品・技術

- コンテナに収まる小型タイプのメタン発酵システム。
- 廃棄物発生場所に設置し、オンサイトにて処理が可能。
- メタン発酵により抽出されたエネルギーは熱や電気として利用。消化液は肥料として農業に還元。

日本の中小企業の事業戦略

- 食品加工工場や農業施設、畜産施設等の有機性で且つ通常の処理方法では無害化するのが困難な廃棄物を排出する事業者に対して、処理コストの低減と抽出したエネルギーを熱・電気として自己利用や周辺施設での利用を提案する。コンテナ収納型である為、現地での設置作業も容易である。

中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

- 有機性廃棄物の適正処理技術の普及。また、副次的効果として水質汚染・土壌汚染の低減、有機性排気物の放置により発生する温室効果の高いメタンの抑制による地球温暖化防止が期待される。
- 対象国で普及が進んでいない再生可能エネルギー（バイオガス発電）の導入促進。